

各項目の記入スペースの配分は応募者の任意とします。1 ページに収める必要はありません。

## 公開の状況等に関する情報（提出資料 7）

|  |
|--|
| 暗号技術名：CLEFIA   |
| 応募責任者名：藤田 雅博   |
| i) 応募暗号技術を発表した国際会議又は国際論文誌に関する情報を列挙して下さい：<br>発表期日：2007年3月26日<br>発表者：Taizo Shirai, Kyoji Shibutani, Toru Akishita, Shiho Moriai, Tetsu Iwata<br>会議名又は論文誌名：Fast Software Encryption (FSE) 2007<br>“The 128-bit Blockcipher CLEFIA “   |
| ii) 輸出管理<br>輸出管理上の許可が不要であることを示す根拠に関する情報を列挙して下さい：<br><br>CLEFIAの仕様及び技術は上記国際会議及びCLEFIA HP( <a href="http://www.sony.co.jp/clefia">http://www.sony.co.jp/clefia</a> ,<br><a href="http://www.sony.net/clefia">http://www.sony.net/clefia</a> )にて既に公開されている。また提出する技術書類についても<br>CLEFIA HPにて公開済みであり、評価にあたり輸出管理上の許可は不要である。   |
| iii) 知的財産とライセンス方針：<br>応募暗号技術に関連する知財権などに関する情報を明記して下さい。また、電子政府で使用する際のライセンス方針を明記して下さい：<br><br>ライセンス方針<br>ソニーは、CLEFIA技術に必須となり得る以下の特許出願を保有します。<br><br>特願2003-339364<br>特願2004-256465<br>特願2006-224674<br>特願2006-238225<br>特願2006-238227<br>特願2006-238228<br><br>ソニーは、CLEFIA技術に必須の登録特許を、CLEFIA技術を実施する者（政府機関を含む）に対し、妥当かつ非差別的な条件で許諾します。<br>なお、評価の実施に際して必要となる知的財産の利用は無償で行なえるものとします。<br>また、現時点でCLEFIA技術に関して認識している他社特許はありません。 |



**著作権**

「暗号技術仕様書」「参照ソースコード及び仕様書」「参照ハードウェア設計記述及び仕様書」「テストベクトル生成コード及び仕様書」「応募暗号説明会資料」の著作権はソニー株式会社に帰属します。

「自己評価書」の著作権は、2章2.3節「拡散行列切り替え法(DSM)」を除き、ソニー株式会社に帰属します。2.3節の著作権は電子情報通信学会に帰属します。なお、該当部分の著作権利用許諾を受けております(許諾番号:09GA0053)。

なお、評価の実施に際して必要となる著作物の利用を無償で行えるものとします。

**iv) 調達可能性について**

応募暗号技術が既に製品等で利用されている場合には、その製品名に関する情報を列挙して下さい:

現時点(2010年1月)で、公開可能な情報はありません。

その他関連事項等あれば記載して下さい。